

事故の分類	もらい事故	発生日時	平成29年10月13日	12時00分	事故当事者	2次下請
事故の型分類	交通事故	年齢・性別	72歳、男性		職種	警備員
被災程度(全治)	死亡					
事故概要	片側交互通行規制の規制帯設置直後、一般通行車両が接近してきたため警備員(交通誘導員)が赤手旗の止まれ指示を出した。しかし、一般通行車両はその指示を無視してそのまま直進し、矢印板を破壊後、警備員を跳ね飛ばした。					
事故原因等	・加害車両運転手が、交通規制実施等の看板、警備員の停止の手旗信号を見落とした前方不注意。 ・被害者となった警備員が、加害車両の速度が40km/h程度と早く感じられなかったため、停車するものと思い込んでしまい、退避行動が遅れてしまったのではないかとと思われる。					
改善策等	■通行車両への更なる注意喚起 ・警告灯(ひまわり灯)、体感マット、規制車(電光掲示板付き)を追加。 ■交通誘導員の防護工設置 ・進入車両強制停止装置(とまるくん)を追加。 ■関係者の安全再教育 ・事故原因推定を基にした安全対策の周知徹底 ・交通誘導員および作業員の安全意識の徹底(通行車両への注意喚起、自己に対する危険回避)					
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	・県内各地方機関に「道路工事等における交通規制時の安全対策について(通知)」し、注意喚起と交通誘導員の安全確保の強化を行った。					

事故状況図

警戒標識	警戒標識	警戒標識	警戒標識	警戒標識	警戒標識	カーコーン	矢印板	交通誘導員
① 停止位置	② 徐行	③ 片側交互通行	④ 橋梁点検中	⑤ 橋梁点検中	⑥ 橋梁点検中		→	警備員

改善策

警戒標識	警戒標識	警戒標識	警戒標識	警戒標識	警戒標識	警告灯	体感マット	とまるくん	カーコーン	矢印板	交通誘導員
① 停止位置	② 徐行	③ 片側交互通行	④ 橋梁点検中	⑤ 橋梁点検中	⑥ 橋梁点検中	⑦ 警告灯	体感マット	とまるくん		→	警備員

事故状況図

改善策